

ワークショップと「地域別実行計画」の関係

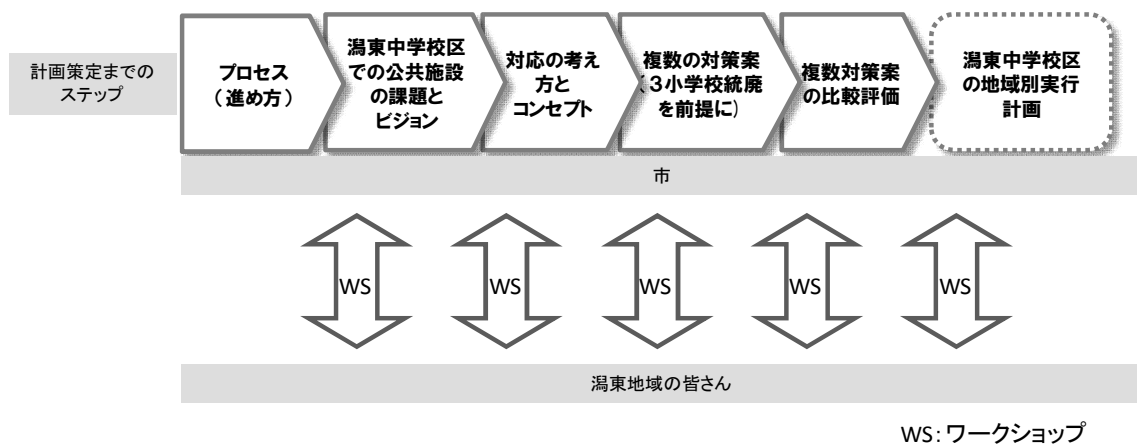
● 地域の皆さんとの協働で地域の計画を策定

7月に策定した「財産経営推進計画（公共施設マネジメント編）」では、中学校区を基本単位とした地域ごとに、地域市民の皆さんと協働で、身近な施設の最適化に向け、将来のあり方を示す「地域別の実行計画」を策定しています。

ワークショップは、この実行計画を策定するにあたり、市民の皆さんと市との協働を実現するための重要な機会のひとつです。

● 検討のスケジュール

市は、ワークショップで得られた成果をもとに、次の5つのステップに分けて検討を行い、「地域別の実行計画」を策定します。



協働で行う作業

- プロセス：はじめにワークショップの進め方を考えます
- 課題とビジョン：どんな問題があるか確認して問題意識を共有します
- 対応の考え方とコンセプト：課題への対応の仕方について考えます
- 具体的で実行可能な対策案を複数考えます
- 複数の対策案を比較・評価します

● コミュニケーション

「地域別実行計画」の検討では、地域の皆さんとさまざまなコミュニケーションを進めていきます。

- ・ ワークショップ
- ・ ニュースレター（広報紙）
- ・ オープンハウス（パネル展示型説明会）
- ・ 市民フォーラム（来年3月実施予定）



● ワークショップの概要

- ・ ワークショップは、平成28年3月までに5回程度開催します。
- ・ 開催は、原則として土曜日または日曜日の午後の予定です。
- ・ 開催会場は、原則として潟東地区公民館（潟東ゆう学館）2階視聴覚室を利用します。
- ・ 事務局は、新潟市 財産活用課 財産経営推進室が担当します。
- ・ ワークショップには、潟東中学校区コミュニティ協議会の役員、地域内の自治会、小中学校PTA、地域内の公共施設利用団体などから推薦を受けた方に加え、公募参加者が参加します。
- ・ 同じ参加者に継続してご参加いただき、議論を深めていきます。
- ・ ワークショップでは、参加者の皆さんにグループ討議で自由にご議論いただきます。
- ・ 一般の傍聴者や報道陣が会議を傍聴することもあります。

● 会議の進め方

- ・ グループ討議の運営では、円滑な議論のため、第三者的立場のファシリテーター（司会進行）がお手伝いします。
 - ・ ワークショップでは、グループごとの議論を中心に進め、会の最後に各グループの議論の結果を発表し、後日、各回の成果として取りまとめます。
 - ・ グループ討議の途中での議論は記録を取りませんので、自由闊達で前向きな議論をお願いします。
 - ・ 市に対する要望・陳情の場ではありません。
- （管理上の都合から会場内で録音・撮影する場合があることをご了承ください）

● ワークショップの成果

- ・ ワークショップの最終回までにまとめ上げた成果は、それ自体を「地域の公共施設の将来像と考え方」として整理します。
- ・ 「地域の公共施設の将来像と考え方」の内容の一部（あるいは全体）は、市が「地域別実行計画」を策定する際の基礎情報として活用します。
- ・ 各回の成果についても記録として残します。

(参考) ファシリテーターのご紹介

～こんにちは。皆さんの議論を円滑に進めるために、第三者的立場から議事進行やとりまとめをお手伝いします。どうぞよろしくお願いいたします～

| | |
|--------|----------------------|
| 篠田 さやか | オフィスキュア |
| 坂本 千春 | 株式会社 C・ROW (シロウ) |
| 浜田 素子 | せたがやオルタナティブハウジングサポート |
| 小口 優子 | 有限会社 まち処計画室 |
| 原田 正隆 | 株式会社 まちづくり商会 |

ワークショップへの参加にあたって

話し合いに積極的に参加しましょう

自分の考えを率直に述べましょう

前向きな思考で発言しましょう

評論家ではなく当事者として関わりましょう

他の参加者の意見に耳を傾けましょう

気持ちよく運営できるよう協力しましょう

議論や運営に貢献する姿勢を讃えましょう

(必要があれば追加しましょう)